

科目コード	33271	科目名	保育原理	単位	2
-------	-------	-----	------	----	---

次の設題について、それぞれ1,500字程度でレポートを作成してください。(2設題必答)

### 設 題 1

平成以降4度の保育所保育指針の改訂(改定)について順に示し、その流れや背景、内容を説明してください。また、現行の保育所保育指針について、「改定の背景及び経緯」「改定の方向性」を簡潔にまとめ説明してください。

#### — 作成の手引き —

- テキスト、保育所保育指針解説からの学びを整理しましょう。  
『保育原理(配本テキスト)』第4章第2節(4)「戦後における保育制度改革」  
『保育所保育指針解説』序章3「改定の背景及び経緯」、4「改定の方向性」
  - ・平成以降の4度の改訂(改定)を順に確認し内容を整理する。
  - ・幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領改訂(改定)との関係性を確認する。
  - ・現行の保育所保育指針改定において見直された「背景や経緯」を理解する。
  - ・「改定の方向性」として取り上げられた5つについて漏れなくまとめる。
- 参考文献、資料、インターネット検索時の記載情報の漏れ、文字数(1,650文字以内)に注意しまとめましょう。
- 配本テキスト、保育所保育指針解説以外の参考文献や資料からの学びも取り入れまとめましょう。

### 設 題 2

保育所保育指針において「職員の資質向上」が第5章に位置づけられています。保育者に求められている専門性や資質を高め、学びを積み重ねていくためにはどのような点を意識し、園内外の研修に参加していくべきなのかについて説明してください。また、実際に行われている現場保育者を対象とした園外の研修について調べ、その目的や内容、そこからの学びや気づきについてまとめましょう。

#### — 作成の手引き —

- テキスト、保育所保育指針解説からの学びを整理しましょう。  
『保育原理(配本テキスト)』第2章第8節「保育士の専門性」、第6章第1節(5)「保育領域と保育者の専門性」  
『保育所保育指針解説』第5章「職員の資質向上」
  - ・保育者に求められる専門性について理解する。
  - ・保育者の資質向上のため位置づけられている研修の意義について理解する。
  - ・園内研修、園外研修それぞれの目的や内容についてまとめる。
- 現場保育者を対象として実際に行われている園外の研修について調べ、そこからの学びや気づきをまとめる。(実際に行われている研修の情報収集に関しては、文末に参考資料として必要な検索情報を明記する)
- 参考文献、資料、インターネット検索時の記載情報の漏れ、文字数(1,650字以内)に注意しまとめましょう。
- 配本テキスト、保育所保育指針解説以外の参考文献や資料からの学びも取り入れまとめましょう。

### 参 考 書

- 1) 配本テキスト「保育原理」(平成30年)豊岡短期大学通信教育部
- 2) 文部科学省「幼稚園教育要領解説」(平成30年)フレーベル館
- 3) 厚生労働省「保育所保育指針解説」(平成30年)フレーベル館
- 4) 内閣府、文部科学省、厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(平成30年)フレーベル館
- 5) 汐見稔幸(監修)「イラストたっぷりやさしく読み解く保育所保育指針ハンドブック2017告示版」学研

## 【学習の目的・ねらい】

現場保育者として子どもたちとの生活を積み重ねていくにあたり、何を大切にし、何を伝えていくべきなのか、子育て家庭の実情や子どもたちの姿を学び、保育者に求められている専門性や、保育者の資質向上を目指し留意しなければならない点を整理しましょう。

### ＜設題1のねらい＞

- ・ 保育所保育指針の変遷を通して、保育の現場に求められてきた内容とその流れを理解する。
- ・ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の変遷における関連を理解する。
- ・ 現行の保育所保育指針改定の背景にはどのような子育て家庭を取り巻く状況があり、保育の現場にはどのようなことが求められているのかを学ぶ。

### ＜設題2のねらい＞

- ・ 保育の専門職として、保育者に求められている専門性について理解する。
- ・ 子ども、保護者、地域で暮らす子育て家庭を支援していくためにも様々な知識や技術が必要であり、そのための自己研鑽、研修の必要性について理解する。
- ・ 現場保育者が実施している園内・園外の研修について学ぶ。

## 【学習の進め方】

レポート作成に当たっては配本テキスト（保育所保育指針解説書）での学びを中心に出题しています。テキストの確認不足とならないよう指示されている該当箇所を確認をしっかりと行い、まとめに入りましょう。

- (1) 評価項目や求められている内容の確認不足、記述不足により再提出となる場合があります。レポート評価票の「論文作法」「内容」の各項目を事前に確認し、求められている内容を理解したうえで作成に入りましょう。
- (2) 配本テキストを読み進め、作成の手引きで示された設題に関わる該当箇所からの学びを整理しましょう。
- (3) 作成の手引きで示された保育所保育指針の該当箇所からの学びを整理しましょう。
- (4) 保育の原理に関する他の図書、資料やインターネット検索による情報収集等で学びを深め、レポート作成に取り組みましょう。
- (5) 内容に応じて段落を設け、まとまりでの記述を工夫しましょう。
- (6) 提出前に必ず読み返しを行い、誤字脱字、変換ミスに注意しましょう。
- (7) テキスト、解説書、情報収集による学びをもとに、自身の言葉での考察・私見も交え簡潔に記述しましょう。

○保育実践の現場では、自らの考えや想いをまとめ、記すこと、話すこと、伝えることが日常的に、様々な場面で求められます。文章や言葉からはその人の心が伝わります。実践者を目指して丁寧に学び、想いをもってまとめましょう。

## 【学習のポイント等】

- レポートの評価は、評価票（ループリック）の各項目に添って行います。評価票の各項目の内容を確認し、まとめるべき内容を理解した上でまとめに入りましょう。（レポート評価票 参照）
- 参考文献の記載方法について正しく学び、配本テキスト、解説書、書籍、資料、論文等、参考にした文献等の必要な情報を文末に漏れなく記載しましょう。（レポート・科目試験のしおり 参照）